



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>
代表者 (役職名) 代表執行役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役
定時株主総会開催予定日 平成25年6月27日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 富田 圭潤
(氏名) 高田 知行
TEL 03-5825-5075
有価証券報告書提出予定日 平成25年6月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	30,245	△12.4	957	△19.0	965	△18.7	881	△67.8
24年3月期	34,522	0.9	1,182	13.5	1,187	4.1	2,737	331.5

(注) 包括利益 25年3月期 879百万円 (△67.8%) 24年3月期 2,729百万円 (329.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	3.74	—	16.9	13.1	3.2
24年3月期	11.60	—	80.6	17.7	3.4

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 一百万円 24年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	7,707	5,643	73.2	23.92
24年3月期	7,059	4,765	67.5	20.20

(参考) 自己資本 25年3月期 5,644百万円 24年3月期 4,764百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	△504	△1,114	—	1,910
24年3月期	2,318	12	△10	3,528

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	0.0	0.0
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	0.0	0.0
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0	0.0	0.0

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,900	16.1	460	81.8	470	82.9	380	95.9	1.61
通期	33,400	10.4	1,000	4.5	1,010	4.7	840	△4.7	3.56

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第14条の7(会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合)に該当するものであります。詳細は、添付資料13ページ「4. 連結財務諸表(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期	235,987,091 株	24年3月期	235,987,091 株
② 期末自己株式数	25年3月期	61,554 株	24年3月期	61,554 株
③ 期中平均株式数	25年3月期	235,925,537 株	24年3月期	235,925,537 株

(参考)個別業績の概要

平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	616	92.7	68	—	70	—	241	△87.4
24年3月期	320	△24.6	△155	—	△149	—	1,923	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	1.02	—
24年3月期	8.15	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
25年3月期	3,130	2,930	2,930	93.6	12.42			
24年3月期	2,821	2,691	2,691	95.4	11.41			

(参考) 自己資本 25年3月期 2,930百万円 24年3月期 2,691百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であります。この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表に対する監査手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、「添付資料」2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	3
3. 経営方針	3
4. 連結財務諸表	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当連結会計年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日）におけるわが国の経済は、復興関連需要が引き続き下支えしつつ、政権交代に伴う経済政策や成長戦略への期待感による円安基調、株価回復が進むなど、景気は持ち直しの動きが見られるものの、一方で、ユーロ圏の景気減速をはじめとして、新興国の成長鈍化など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界における新車市場は、エコカー補助金の影響により販売台数が前年比5.7%増と好調に推移いたしました。一方で、中古車市場は、新車販売の増加により、下取車が急増し、登録台数は前年比3.2%増加するなど、一時は供給過多の傾向にあり、その影響でオートオークションの取引相場は低調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループは、オートオークションをはじめとする取引相場の低迷により、売上単価が低水準で推移した事が影響し、売上高は前年同期を下回る結果となる中、利益率を重視した事業運営を推進いたしました。上半期においては、売上高、利益共に、厳しい状況で推移しましたが、下半期においては、取引相場が回復傾向となり、また、営業施策が軌道に乗ったことから、前年同期と同水準の売上高を確保しつつ、売上総利益率は22.0%と前年同期（18.8%）を大幅に上回り、下半期の利益については、前年同期を大幅に上回る実績となりました。

以上の結果、売上高は30,245百万円（前年同期比12.4%減）、売上総利益は6,732百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は957百万円（前年同期比19.0%減）、経常利益は965百万円（前年同期比18.7%減）、当期純利益は881百万円（前年同期比67.8%減）となりました。

②セグメント別の状況

当社グループは単一セグメントとなっておりますので、セグメントの業績については記載を省略しております。

③次期見通しについて

わが国の経済は、政権交代に伴う経済政策や成長戦略への期待感による円安・株高の上昇など、景気は持ち直しの動きが見られるものの、一方で、ユーロ圏の景気減速をはじめとして、新興国の成長鈍化など、景気の先行きは、依然として不透明な状況のまま推移するものと思われまます。また、当社グループが属する自動車業界においても、オートオークション市場の相場の趨勢が不透明であることから不安定な状況が続くことが見込まれます。

このような厳しい市場環境の中で、当社グループは、新規店舗出店及び人材育成に注力し、安定した収益が確保できる体制を構築してまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高33,400百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益1,000百万円（前年同期比4.5%増）、経常利益1,010百万円（前年同期比4.7%増）、当期純利益840百万円（前年同期比4.7%減）となる見込みであります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は、7,707百万円となり、前連結会計年度末に比べ647百万円増加いたしました。主な要因は、商品の増加625百万円、受取手形及び売掛金の増加597百万円、繰延税金資産の増加66百万円、現金及び預金の減少618百万円などによるものであります。

負債合計は、2,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円減少いたしました。主な要因は、閉鎖店舗引当金の減少255百万円、未払金の減少94百万円、支払手形及び買掛金の増加105百万円などによるものであります。

純資産合計は、5,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ878百万円増加いたしました。主な要因は、当期純利益を881百万円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、前年同期と比べ1,618百万円減少し、残高は1,910百万円となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益は938百万円となり、仕入債務の増加額105百万円、減価償却費95百万円のプラス要因があったものの、たな卸資産の増加額626百万円、売上債権の増加額597百万円、閉鎖店舗引当金の減少額255百万円などのマイナス要因があったことにより、結果として、504百万円のマイナスとなりました。

(前年同期は2,318百万円のプラス)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の預入による支出1,000百万円、有形固定資産の取得による支出62百万円、投資有価証券取得による支出41百万円などのマイナス要因があったため、結果として1,114百万円のマイナスとなりました。(前年同期は12百万円のプラス)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当期は、財務活動を行っていないため記載すべき事項はございません。(前年同期は10百万円のマイナス)

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりです。

項目	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率(%)	20.5	23.7	32.1	67.5	73.2
時価ベースの自己資本比率(%)	87.5	116.5	100.8	96.6	113.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	5.3	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	1,346.0	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象にしております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、当社は株主各位に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のため内部留保を確保しつつ、安定的に適正な利益還元の実行を基本方針としております。当期におきましては、8.8億円の当期純利益を計上するに至りました。しかしながら累積損失の一掃には至っておらず、誠に遺憾ではございますが、配当を見送らざるを得ない状態となっております。来期以降は早期の配当の実施に向け、より具体的な検討を進めると共に、収益の拡大に邁進してまいります。

2. 企業集団の状況

最近の有価証券報告書(平成24年6月29日提出)における「事業系統図(事業の内容)」から重要な変更がないため開示を省略しております。

3. 経営方針

(1)会社の経営の基本方針、(2)目標とする経営指標、(3)中長期的な会社の経営戦略、(4)会社の対処すべき課題については、平成23年3月期決算短信(平成23年5月13日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.carchs-hd.com/>

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/index.html>

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,533,610	2,915,167
受取手形及び売掛金	538,618	1,135,760
商品	1,677,005	2,302,629
貯蔵品	1,510	2,532
繰延税金資産	163,511	230,066
その他	176,199	149,163
貸倒引当金	△155	△541
流動資産合計	6,090,299	6,734,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	888,924	901,129
減価償却累計額	△558,847	△621,032
建物及び構築物 (純額)	330,076	280,096
土地	0	—
その他	106,028	138,493
減価償却累計額	△84,262	△96,952
その他 (純額)	21,765	41,541
有形固定資産合計	351,842	321,637
無形固定資産		
その他	28,339	32,503
無形固定資産合計	28,339	32,503
投資その他の資産		
投資有価証券	25,419	62,624
破産更生債権等	6,821,072	6,823,086
差入敷金保証金	552,049	544,874
その他	8,781	7,994
貸倒引当金	△6,817,922	△6,819,936
投資その他の資産合計	589,400	618,643
固定資産合計	969,583	972,784
資産合計	7,059,882	7,707,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,360	565,869
未払金	433,803	338,863
未払法人税等	92,845	81,770
閉鎖店舗引当金	549,313	293,426
製品保証引当金	39,208	35,786
その他	548,985	580,177
流動負債合計	2,124,516	1,895,893
固定負債		
預り保証金	4,550	4,550
繰延税金負債	24,246	18,150
資産除去債務	140,418	144,753
その他	888	259
固定負債合計	170,103	167,713
負債合計	2,294,620	2,063,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,447,805	14,447,805
資本剰余金	7,555,702	7,555,702
利益剰余金	△17,235,162	△16,353,425
自己株式	△3,753	△3,753
株主資本合計	4,764,591	5,646,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△2,212
その他の包括利益累計額合計	—	△2,212
少数株主持分	670	△162
純資産合計	4,765,262	5,643,954
負債純資産合計	7,059,882	7,707,561

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)		当連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日)	
	売上高	34,522,929		30,245,138
売上原価	27,763,234		23,512,446	
売上総利益	6,759,694		6,732,692	
販売費及び一般管理費	5,577,414		5,774,933	
営業利益	1,182,280		957,758	
営業外収益				
受取利息	561		1,908	
受取配当金	230		341	
受取手数料	2,671		4,346	
受取保証料	1,888		1,798	
協賛金収入	2,614		671	
雑収入	4,146		5,441	
営業外収益合計	12,112		14,508	
営業外費用				
支払利息	206		26	
支払保証料	2,054		1,755	
盗難損失	1,333		2,523	
修理費	1,905		1,693	
雑損失	1,829		794	
営業外費用合計	7,329		6,792	
経常利益	1,187,062		965,474	
特別利益				
固定資産売却益	4,955		3,999	
投資有価証券売却益	15,964		-	
訴訟費用返戻金	-		12,393	
訴訟損失引当金戻入額	1,799,613		-	
債務保証損失引当金戻入額	3,701		-	
債務消滅益	29,297		-	
特別利益合計	1,853,532		16,393	
特別損失				
貸倒引当金繰入額	3,059		-	
投資有価証券売却損	880		-	
投資有価証券評価損	11,840		2,220	
固定資産除却損	374		2,051	
減損損失	16,840		12,874	
訴訟和解金	-		26,000	
訴訟関連損失	17,626		-	
特別損失合計	50,620		43,146	
税金等調整前当期純利益	2,989,975		938,721	
法人税、住民税及び事業税	92,775		129,541	
法人税等調整額	167,870		△72,650	
法人税等合計	260,646		56,890	
少数株主損益調整前当期純利益	2,729,328		881,830	
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,740		93	
当期純利益	2,737,068		881,737	

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	2,729,328	881,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△2,212
その他の包括利益合計	—	△2,212
包括利益	2,729,328	879,618
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,737,068	879,525
少数株主に係る包括利益	△7,740	93

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	14,447,805	14,447,805
当期末残高	14,447,805	14,447,805
資本剰余金		
当期首残高	7,555,702	7,555,702
当期末残高	7,555,702	7,555,702
利益剰余金		
当期首残高	△19,972,231	△17,235,162
当期変動額		
当期純利益	2,737,068	881,737
当期変動額合計	2,737,068	881,737
当期末残高	△17,235,162	△16,353,425
自己株式		
当期首残高	△3,753	△3,753
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	△3,753	△3,753
株主資本合計		
当期首残高	2,027,522	4,764,591
当期変動額		
当期純利益	2,737,068	881,737
当期変動額合計	2,737,068	881,737
当期末残高	4,764,591	5,646,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	—	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	△2,212
当期変動額合計	—	△2,212
当期末残高	—	△2,212
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	△2,212
当期変動額合計	—	△2,212
当期末残高	—	△2,212
少数株主持分		
当期首残高	15,062	670
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△14,392	△833
当期変動額合計	△14,392	△833
当期末残高	670	△162

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
純資産合計		
当期首残高	2,042,585	4,765,262
当期変動額		
当期純利益	2,737,068	881,737
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,392	△3,045
当期変動額合計	2,722,676	878,691
当期末残高	4,765,262	5,643,954

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,989,975	938,721
減価償却費	90,182	95,063
のれん償却額	5,466	482
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,189	2,400
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△9,655	—
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△23,151	—
閉鎖店舗引当金の増減額 (△は減少)	△244,987	△255,886
訴訟損失引当金の増加額 (△は減少)	△1,871,615	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	7,451	△3,422
受取利息及び受取配当金	△791	△2,250
支払利息	206	26
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,840	2,220
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15,084	—
有形固定資産除却損	374	2,051
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4,955	△3,999
減損損失	16,840	12,874
売上債権の増減額 (△は増加)	520,827	△597,142
たな卸資産の増減額 (△は増加)	312,771	△626,646
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,093	105,509
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△3,059	△2,014
未払金の増減額 (△は減少)	44,621	△93,860
未払費用の増減額 (△は減少)	73,788	34,035
前受金の増減額 (△は減少)	△18,857	31,302
未払消費税等の増減額 (△は減少)	41,207	△38,859
その他	△52,647	36,030
小計	1,847,843	△363,363
利息及び配当金の受取額	791	1,044
利息の支払額	△206	△26
訴訟の判決による拘束性預金の増減額(△は増加)	500,000	—
法人税等の支払額	△29,988	△141,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,318,439	△504,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	5,400	—
定期預金の預入による支出	△1	△1,000,000
投資有価証券の売却による収入	44,386	—
有形固定資産の取得による支出	△64,507	△62,346
有形固定資産の売却による収入	40,000	4,000
無形固定資産の取得による支出	△5,362	△17,307
長期前払費用の取得による支出	△8,660	—
出資金の払込による支出	△800	—
差入敷金保証金増加による支出	△54,112	△8,226
差入敷金保証金減少による収入	63,322	12,604
投資有価証券の取得による支出	—	△41,637
連結子会社株式の追加取得に伴う支出	△7,008	△1,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,656	△1,114,323
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△10,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,000	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,321,096	△1,618,443
現金及び現金同等物の期首残高	1,207,512	3,528,608
現金及び現金同等物の期末残高	3,528,608	1,910,165

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 3社

(1) 主要な連結子会社の名称

株式会社カーチス、株式会社カーチスコールセンター、株式会社タカトク

前連結会計年度に連結子会社でありました株式会社カーチス倶楽部は、平成25年2月1日に株式会社カーチスを存続会社、株式会社カーチス倶楽部を消滅会社とする吸収合併をしたため、連結の範囲から除外いたしました。

2 持分法の適用に関する事項

持分法適用の関連会社数 なし

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は以下のとおりであります。

株式会社カーチス、株式会社カーチスコールセンター・・・3月31日

株式会社タカトク・・・12月31日

連結財務諸表の作成に当たって、株式会社タカトクについては当該事業年度にかかる財務諸表を基礎としております。ただし、決算日と連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っております。

4 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産

個別法による原価法（連結貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法によっております。)

時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却方法

① 有形固定資産

定率法によっております。

平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については、定額法を採用しております。また、平成19年4月1日以降に取得した減価償却資産については、改正後の法人税法に基づく定率法を採用しております。定期借地権契約による借地上の構築物等については、耐用年数を定期借地権の残存期間、残存価額を零とした定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 3年～45年

② 無形固定資産(リース資産を除く)及び長期前払費用

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法により規則的な償却を行っております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 閉鎖店舗引当金

店舗閉鎖に伴う費用損失に備えるため、今後の発生見込額を計上しております。

③ 製品保証引当金

保証期間内の製品保証費用の発生に備えるため、過去の実績に基づき計上しております。

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。

(5) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

連結納税制度

連結納税制度を適用しております。

(会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に保有している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に保有している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

当社グループは、当連結会計年度より単一セグメントとしているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

当社グループは、当連結会計年度より単一セグメントとしているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

当社グループは、当連結会計年度より単一セグメントとしているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

当社グループは、当連結会計年度より単一セグメントとしているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）		当連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）	
1株当たり純資産額	20.20円	1株当たり純資産額	23.92円
1株当たり当期純利益金額	11.60円	1株当たり当期純利益金額	3.74円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益（千円）	2,737,068	881,737
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	2,737,068	881,737
期中平均株式数（株）	235,925,537	235,925,537

（重要な後発事象）

該当事項はありません。